Ultima® III

ウルティマⅢ：エクソダス

—EXODUS—



琥珀の呪文集

ORIGIN

PONY CANYON





旅の者へ。

我は、新たなる力が授かるこの呪文の書を所有し、大切に扱うことを汝に望む。汝はすでに、第五界までの呪文を修得しうる能力を備えている。そのため、これが無用の古書となるときは近いかも知れぬ。だが、地獄の底〝グレート・ステイジアン・アビイス〟における精神改革の試練に堪え抜けたならば、第六界の呪文を修得することがかなうのである。当然、アビイスに到達するには、並外れた体力と技を備えていなければならない。

ここに記された力の体系をよく学び、賢く利用せよ。慎重なる利用によって、あらゆる困難を克服することが可能となろう。無駄使いは、汝に無償の疲労をもたらすのみである。

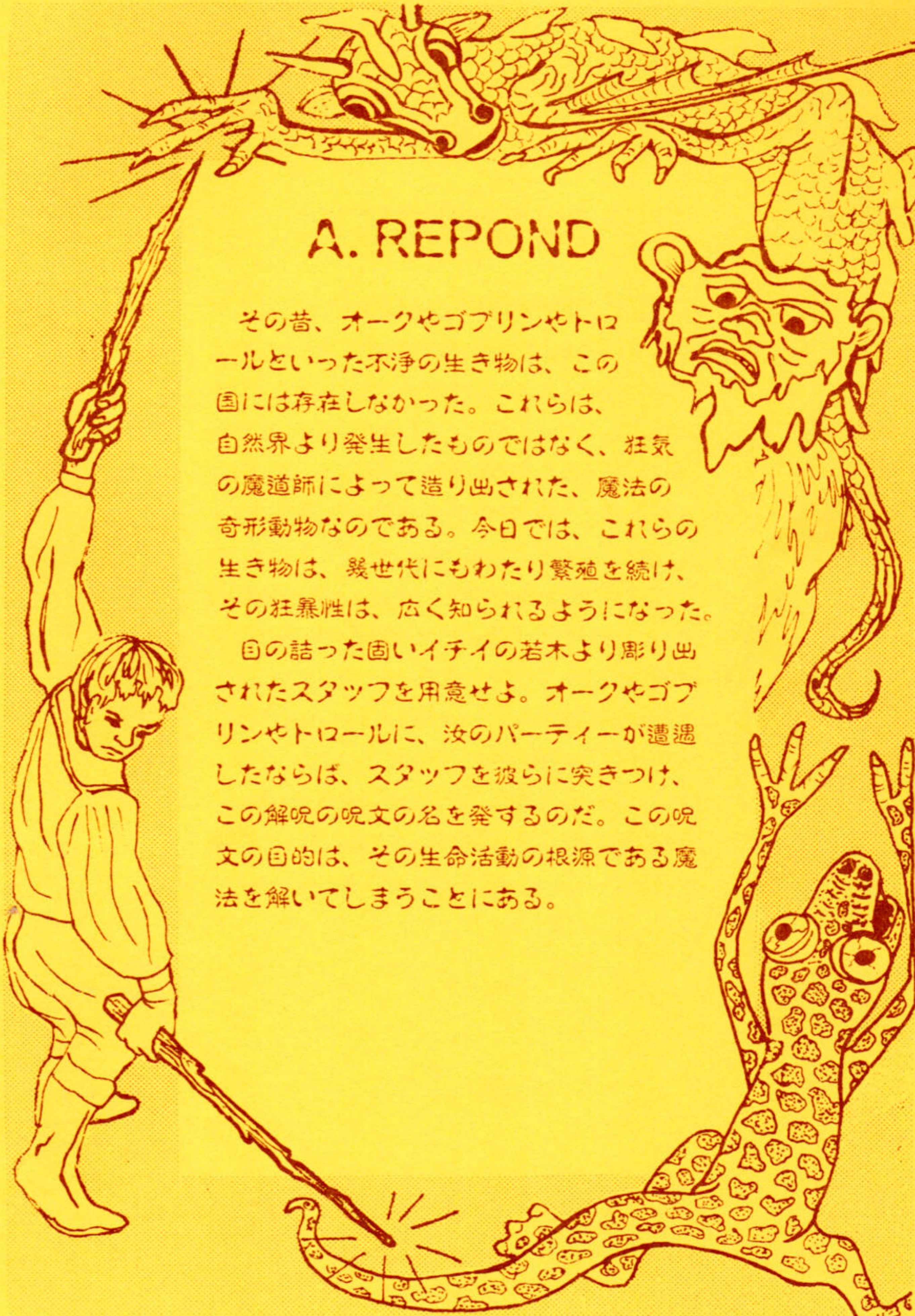
この奇異なる時代を、賢く生き伸びられんことを願う。

ドルイド　セルザニク

第九界呪文継承大魔道師







A. REPOND

その昔、オークやゴブリンやトロールといった不浄の生き物は、この国には存在しなかった。これらは、自然界より発生したものではなく、狂気の魔道師によって造り出された、魔法の奇形動物なのである。今日では、これらの生き物は、幾世代にもわたり繁殖を続け、その狂暴性は、広く知られるようになった。

目の詰った固いイチイの若木より彫り出されたスタッフを用意せよ。オークやゴブリンやトロールに、汝のパーティーが遭遇したならば、スタッフを彼らに突きつけ、この解呪の呪文の名を発するのだ。この呪文の目的は、その生命活動の根源である魔法を解いてしまうことにある。

B. MITTAR

遠投に適した木片や小石などを手に取り、強く握りしめ、次のMITTARの呪文を唱えながら、拳を胸に打ちつける。

MANJI MULA NESPON LEV
MITTAR NOPSEN ALUM CAVI

しかる後、手に握られたる物を、敵に向かって投げつける。魔力がキラキラと輝く虹色の光となって汝の手中から飛び出し、敵を襲うであろう。その光は、敵の体内に侵入し、生命力を崩壊せしめる。

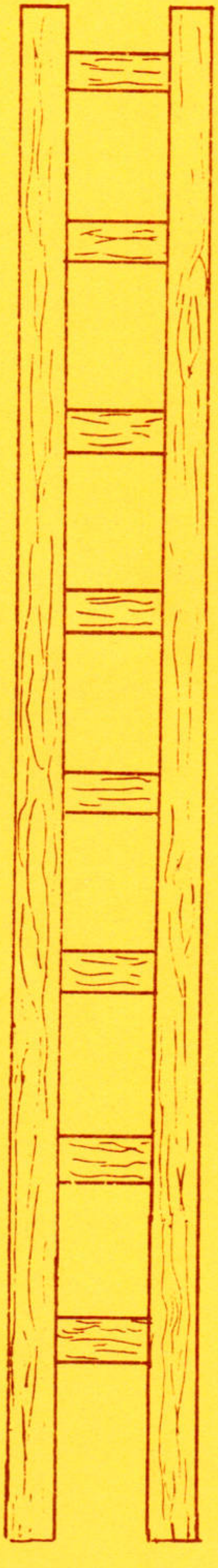
この呪文の威力は、錬度と集中力を高めることによって、幼い子供の平手打ち程度のものから、勇猛たる騎士の一撃程度にまで、自在に調節することが可能になる。

C. LORUM

ダンジョンや洞窟ばかりでなく一般的な建造物に、心許ないランタンの明かりを頼りに足を踏み入れるとき、ロラムの塵の用意が十分であるかを必ず確かめることだ。ロラムの塵は、蜘蛛の体液を強い日光に長時間さらすだけで、容易に作ることができる。こうしてできたロラムの塵は、セーム皮の袋に集め、次の呪文を唱えながら、太陽の光とともに封印する。

OBREY URICUM OBLA SUM

太陽の光を放出するには、上の呪文を逆から唱えながら、ひとつまみのロラムの塵を取り出し、空中に撒く。暖かくやわらかい魔法の光が、短時間ながら汝を包むであろう。



D. DOR ACRON

ダンジョンにおいて、通過困難な場所に悩まされた場合、特に重宝な呪文である。これを取り行なうためには、穴熊の左前足が必要である。この扱いには、十分に注意を払わなければならない。なぜなら、少しでも穴熊の足に傷が付いたなら、生きている穴熊がその傷により自らの行動に支障をきたすように、汝にとっても、障害になるからだ。

その準備が整ったならば、これを取り行なわんとする場所にパーティーで輪を作り、次の呪文を唱えよ。

LIEDLAM SPULGER IDSKRIM
GRUEN BEAST TRENTLE BAN

この呪文が唱えられるや、汝とパーティーのメンバーは、ひとつ下の階に瞬間移動するのである。





E. SUR ACRON

これは、DAG ACRON と深い関わりのある呪文である。結果として、瞬間移動する方向が異なるのみである。これを取り行なうには、乾燥させた鳥の翼が必要となる。それも、天高く羽ばたいているところを、1本の弓矢で胸を射抜かれた鳥のものでなければならない。これに革ひもを通し、汝のスタッフの先に縛りつけるのだ。

この呪文の場合も、パーティーで輪を作る。鳥の翼を掲げ、次の言葉を唱えよ。

LIEDLAN SPULGER IDSTRIN
FAUN BEAST FENTRI CHEM

これが唱えられるや、汝と汝のパーティーは、天井を通り抜け、ダンジョンのひとつ上の階に移動できるであろう。



F. FULGAR

この呪文は、戦闘において強力な武器となろう。これを取り行なうには、鉄で周りを覆った金の芍と、小瓶に満たした魔法水が必要である。魔法水とは、草原の沼の水面に稲妻が落ちた瞬間に汲み取った水のことである。戦いが近付くまで、小瓶にはしっかりと封をしておく。そして、いざというときに、この小瓶に金の芍を当て、次の呪文を大声で唱えながら芍を敵に差し向ける。

FLAMIN FLEETIS PONDI

小瓶に封印された強大なエネルギーは、金の芍を伝い出て炎の球となる。そしてそれは、激しく回転しながら軌跡を焼き払いつつ敵に向かい突進するのである。これは確実に敵に命中し、それを抹殺せしめる。人ひとりならば、その威力は有余るほどであり、強靭な怪物に対しても、多大な痛手を負わすことができる。

G. DAG ACRON

この呪文では、ごく一般的なオリゴンを用いる。オリゴンから発せられた幾筋もの光線を地面に落とし、次の呪文を唱えよ。

DAG FULNUS ACRON
FRIEDA ACRON BOONT

ひと筋ごとに光がパーティーのメンバーを照らすと、メンバーはひとりずつ姿を消す。最後に汝自身も、姿を消すことになる。そして次の瞬間、この地上のどこか別の場所に、順番に現われるのである。この呪文は、ソーサリアの地上でのみ効力がある。汝らを必ずどこかの平原へ移動せしめるものであるが、はっきりとした行き先は、何人にも予測がつかぬ。

H. MENTAR

この呪文を唱える前に、太古より鬱蒼と茂る暗いオークの森などでよく見かける、オークの虫こぶを集めなければならない。しかる後、この虫こぶを、MENTAR の書に記された次の言葉を唱えながら、溶かしたロウに浸ける。

ZANBAR LEECHEN
CERDI MENTAR

戦闘時において、この虫こぶを手の中で砕くと、恐怖の叫びが青い球となって敵に飛びかかる。それは敵の心に侵入し、再起不能なまでに精神構造を破壊するのである。汝の知性の高さに応じて、その威力が変化することを、覚えておかれよ。

I. DAG LORUM

　これは、LORUMの呪文と効果は同じであるが、持続性が高い。
　金の短剣を強い陽の光にさらし、肌が焼けるくらいにまで熱せられたなら、強く石に擦りつけ、金の粉を作る。それが石の上に溜まったなら、次の呪文を唱えながら、絹の袋に集める。

OBRUM URICA OBLA SUM
URICA MANI SUM LEVI

　長時間輝く光が必要になったとき、絹の袋を手で強く振るがよい。金の粉に秘められたエネルギーが、金色のまばゆい光となって、長く放出されることだろう。



J. FAL DiVi

祈とう系の呪文を操らんとするならば、相当な力が必要とされる。FAL DiVi は汝に、恐ろしいほどの数々の能力を与えるものである。これなくしては、第六界の呪文の修得はかなわない。これは、たやすくはない。多くの失敗を重ねることとなろう。

汝の体に聖水をふりかけ、FAL DiVi の祈りの言葉を、ゆっくりと唱えよ。

FAL DIVI DOM MINEA
FAL DIVI REQUI SEM

真古代祈とう書を参照し、そこから、汝が必要とする呪文を唱えるのだ。この祈りが正しく唱えられたなら、真古代祈とう書にある、すべての呪文が汝のものとなろう。



これより先には、第六界の高度な呪文が記されている。これらは闇の力を操る呪文であるため、あわてて試さんとすることなかれ。ステイジアン・アビイスにて修行を積まぬうちは、唱えることができたとしても、汝の能力ではその膨大な力を制御することはできない。

死の影が、汝の目に身近に映るようになり、魔術の道に精通したとき、これらの呪文は汝のものとなる。

この呪文の前には、汝は敵なしである。ただし、よく考えて、注意深く使うことだ。なぜなら、これらは多量の魔力を必要とするからである。

K. NOXUM

これは、多数の強敵に囲まれたときなどに頼りになる、最も初歩的な大量殺傷用の攻撃呪文である。

ソーサリアの2つの月が朔月の夜、炎のダンジョンの入口に行き、その附近に堆積している火山灰を集めてくる。そして、その晩のうちに、火山灰とシナモンと高麗人参とを同量ずつ混ぜ合わせる。

こうしてできた魔法の混合物を、次に記すNOXUMの呪文を唱えたる後に、敵に向かって投げつける。

NOXUM MENTON
LANU FLAMA

されば、混合物は炎をあげて敵に降り掛かり、多くの敵に大打撃を与えるであろう。

L. DECORP

太陽が幾度もその軌道を巡り、汝は魔術の道において、数多くの経験を積んだ。汝の技と力は、魔術による戦闘の瞬時決着が可能になるまでに至った。

この呪文を唱えることにより、汝は持てる限りの魔力を引き出し、特定の敵にそれを集中させることができる。

DECORP の呪文を口ずさめば、周囲の空気は、汝の命令を待って低く唸る魔力と共鳴して震え出す。そして魔力は、相手が何者であれ、汝が指定した敵に向かって突進し、その生命を確実に、完全に消滅せしめる。

NON CRONO DI VANI
PAS NUMEN TI SONI

M. ALTAIR

これまで、汝は汝の魔力を、この世界で魔術を取り行なうために使ってきた。しかし、第六界の呪文の継承者となった今、汝はこの世界を超越するために、魔力を使うことが可能になったのだ。

まず、一握りの砂を取り、次に記すALTAIR の呪文を唱えながら、砂を地面に落とす。

ALT MAN FUL MINTAR
LAE FIN CRIM BONTAIR

砂が落ちてゆくにしたがって、しだいに時間の流れが遅くなり、ついには停止してしまう。そして汝は、時間が止まった世界で、自由に行動できるのである。世界は汝の意のままに、ある決められた間だけではあるが、凍りついてしまうのだ。

N. DAG MENTAIR

　これは、強力な大量殺傷用の攻撃呪文である。汝を取り囲んだ敵に対して、ある程度、その強さに値する打撃を与えるのだ。夏の最も暗い夜に、年をとった知恵のあるフクロウを１羽生捕りにする。２つの目玉だけを取り出して、フクロウを石の祭壇に捧げ、次の言葉を唱える。

FENDI MENTAR DIVI
CREMBI MENTAR BONI

　敵と遭遇したなら、この呪文を唱え続けよ。そして、空気中の魔力が汝の声に共鳴して、重い圧迫感を持ち始めたなら、両の手でフクロウの目玉を潰せ。その瞬間、敵はとてつもなく強い衝撃を受け、汝の知性と同量の被害を被るのである。

O. NECORP

望月の夜、黒斑病で死にかけている人間の肝臓を取り出し、森の中で14週間と1日、乾燥させる。しかる後、次の呪文を唱えながら、細かく挽いて粉にする。

DON CORPUS MIE DA FUTZ
RIE DA DON NEMI

粉をいくつかの小瓶に分けて持ち、いざというときに敵の頭上に投げよ。されば、小瓶は魔法の力によって自ずと砕け散り、中に封じ込まれていた、おぞましい腐敗物が、敵の集団に降り注がれる。瞬時にして敵どもの肉体は、元の形がわからないほどに朽ち、戦う体力が奪われてしまうのである。

P.

この呪文には名前がない。いまだかつて書かれたことも、声に出されたこともない。魂を闇の王国に追放しなければならない状況においてのみ、これを取り行なわんことを申し付けておく。これには、闇の王の名前が付されているのである。

この呪文を唱えるとき、汝は最高度の精神集中を要求される。地面にイチイのスタッフによって防御のための五芒星形を描き、敵が位置する方角に最も近い角にロウソクを立て、灯す。硫黄の粉を炎にふりかけ、闇の王の名を口にする。この言葉を聞いたすべての敵は、肉体も命も確実に粉砕されてしまうのである。後には、小石ほどの生命も残らない。

私、ロード・ブリティッシュは、この本の制作にあたり、多大なる協力をくださった次の方々に感謝します。

大部分の仕事をしてくれた、マーガレット・エレン・ウェイジャーズ。

序文と内容に関するアドバイスをくれた、ロー・R・アダムスⅢ世。

多大なるデタラメな編集をしてくれた、リチャード・A・ガリエット。

多大なる正しい編集をしてくれた、ロバート、マーシー、オーエン、ならびにヘレン・ガリエット。

すばらしいイラストを制作してくれたヘレン・ガリエットには、特別の感謝を捧げます。

5555